

# 日本景観生態学会 第23回盛岡大会 プログラム



岩手県宮古市田老 真崎海岸 (2012年8月)

会期：2013年6月28日（金）～6月30日（日）  
会場：岩手大学工学部・いわて県民情報交流センター

日本景観生態学会  
後援 岩手大学

# 日本景観生態学会 第23回盛岡大会 プログラム

会期 2013年6月28日(金)～6月30日(日)

会場 岩手大学工学部(29日)・いわて県民情報交流センター(28日)

学会会長 原慶太郎

大会会長 竹原明秀

大会実行委員長 島田直明

## 大会日程

- 6月28日(金)** 各種委員会 会場：アイーナ(いわて県民情報交流センター)
- |             |         |           |
|-------------|---------|-----------|
| 13:00-13:50 | 編集委員会   | 8階会議室 801 |
| 14:00-15:20 | 企画委員会   | 同上        |
| 15:30-17:00 | 震災特別委員会 | 同上        |
| 17:15-18:45 | 運営委員会   | 8階研修室 810 |
- 6月29日(土)** 一般講演・総会・公開シンポジウム・懇親会 会場：岩手大学工学部
- |             |                        |                                   |
|-------------|------------------------|-----------------------------------|
| 8:00～       | 受付                     | テクノホール ロビー                        |
| 9:00～10:45  | 口頭発表                   | A会場：2号館2階22番講義室                   |
| 9:00～10:45  | 同上                     | B会場：2号館2階23番講義室                   |
| 11:00～11:45 | 総会                     | A会場：2号館2階22番講義室                   |
| 12:15～13:15 | ポスター発表                 | コアタイムA(奇数の講演番号)<br>2号館1階12・13番講義室 |
| 13:15～14:15 | ポスター発表                 | コアタイムB(偶数の講演番号)<br>2号館1階12・13番講義室 |
| 14:30～17:30 | 公開シンポジウム『三陸復興と景観・自然環境』 | テクノホール                            |
| 18:00～20:00 | 懇親会                    | 工学部食堂                             |
- 6月30日(日)** エクスカーション
- |        |                |      |
|--------|----------------|------|
| 8時     | 盛岡駅西口2階バスターミナル | 出発   |
| 16時30分 | 盛岡駅西口2階バスターミナル | 解散予定 |

目的地：岩手県宮古市 真崎海岸・田老

# 大会案内

## 受付

6月29日8時から受付を開始します。

大会参加費 一般：3,000円 学生：1,500円

懇親会費 一般：5,000円 学生：3,000円

エクスカージョン参加費：3,000円

※大会参加・懇親会に限り、当日もお受けしています（エクスカージョンは不可）。

## 口頭発表（A会場：工学部2号棟22番講義室，B会場：23番講義室）

- ・発表者は当日8時30分までに口頭発表会場にお越しください。
- ・ウィルスチェック済みUSBメモリで発表ファイルを持参し、口頭発表会場に備え付けPCにコピーして下さい。
- ・発表会場のPCのOSはWindows7です。
- ・PowerPoint2007、および、Adobe Readerを使用できます。
- ・ファイル名はプログラム掲載の講演番号と氏名（例：A-1 景観太郎）にして下さい。
- ・口頭発表会場は2つあります。
- ・発表時間は15分（発表12分、質疑3分）です。
- ・発表中のPC操作は発表者自身でお願いいたします。
- ・発表者は、発表が終了したら次の演題の座長をお願いします。

## ポスター発表（工学部2号棟12・13番講義室）

- ・ポスターは11時までに展示を完了し、当日14時30分までに撤去して下さい。
- ・展示場所はポスター会場の展示ボードにポスター講演番号で指示されます。
- ・ポスターは幅90cm×高さ150cmのボードに貼れるように作成して下さい。
- ・コアタイムA（奇数の講演番号）の発表者は11:45～12:45、コアタイムB（偶数の講演番号）の発表者は12:45～13:45の間、ご自分のポスターの前で説明して下さい。
- ・ポスター展示用の画鋏などは会場に用意します。

## ポスター賞

日本景観生態学会は、論文作成・発表技術の向上、研究者・技術者等の学会参加意欲の向上をとおして景観生態学を発展させていくために、優れたポスター発表をおこなった若手個人会員（おおむね40歳未満）を表彰することにしております。受賞者には、大会期間中、懇親会の席で表彰状を授与するとともに、学会誌「景観生態学」において氏名、発表論文題目等を公表し、それを称えます。ポスター賞に応募された方はできるだけ懇親会にもご出席ください。

## ポスター審査の観点

### <第1段階審査>

タイトル、要旨、視線を引きつける工夫がなされるなど、デザインとして優れていること、また、直感的に「選んでもらえる」ポスターであり、短時間でおおまかな内容を伝える「わかりやすさ」に工夫がみられる「キャッチ能力」に優れた発表だけが第2段階審査の対象になります。

### <第2段階審査>

第2次審査では文章構造や論理展開、説明の分かりやすさや研究の質について審査されます。

## 昼食

6月29日(土)の昼食の際は、懇親会を行う工学部食堂はお休みのため、中央学生食堂(11:00~19:00)をご利用ください。また、大学の近隣にはコンビニエンスストアがあります。大会実行委員会では昼食の手配をいたしません。

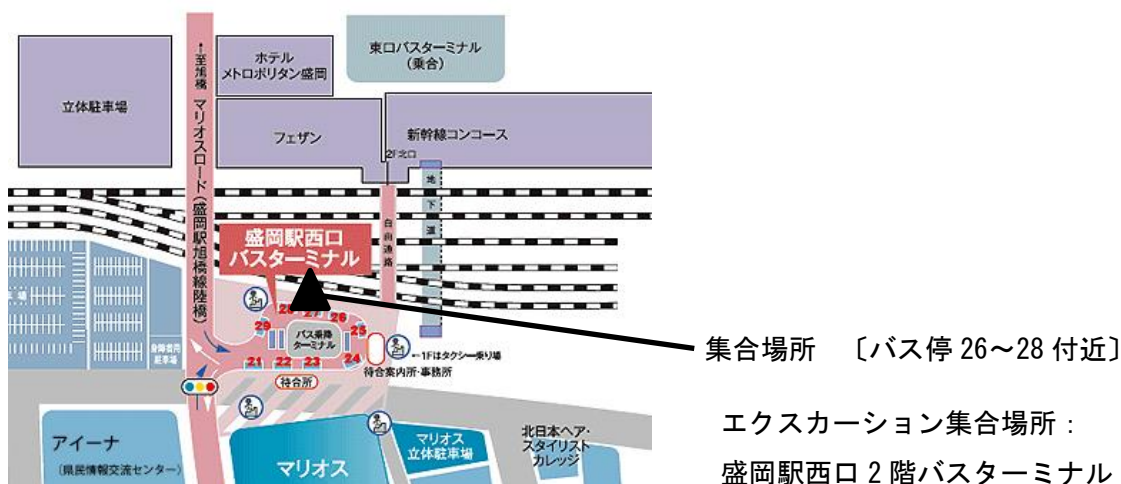
## 懇親会

6月29日(土)18:00から工学部食堂にて懇親会を開催します。

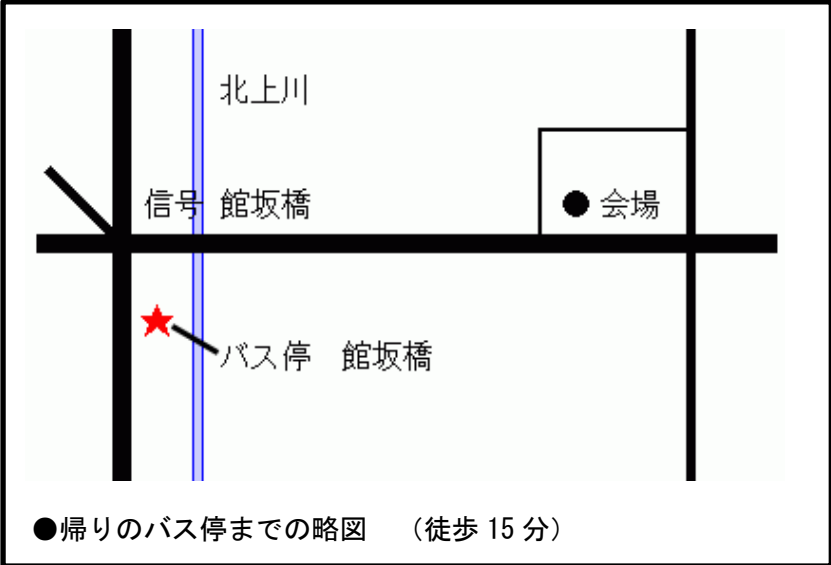
ポスター賞の発表と表彰もこの席で行います。

## エクスカージョン

- ・6月30日(日)8:00~16:30(予定) (雨天決行)
- ・8:00 盛岡駅西口二階バスターミナル 出発(貸切バスを使用)
- ・16:30 盛岡駅西口二階バスターミナル 解散予定
- ・テーマ:三陸復興国立公園の自然景観と復興工場の現場
- ・巡検地:宮古市真崎海岸(自然景観)・宮古市田老(防潮堤工事現場)
- ・エクスカージョン費にはお弁当が含まれています。



# 大会案内図





### 岩手大学工学部構内

教室名	内容
テクノホール ロビー	受付
2号棟 2階 22番講義室	口頭発表 A 会場・総会
2号棟 2階 23番講義室	口頭発表 B 会場
2号棟 1階 12番講義室	ポスター会場
2号棟 1階 13番講義室	ポスター会場
テクノホール	公開シンポジウム

### 交通案内

■行き バス 盛岡駅東口 駅前バスターミナル11番のりば

○岩手県交通 基幹バス・駅上田線

乗車— 「松園バスターミナル行き」 下車— 「上田四丁目 (NHK 盛岡放送局前)」

料金：210円・15分程度 7～9時台は5-10分間隔で運行

■帰り バス 館坂橋 (会場から徒歩15分)

盛岡駅前へは「盛岡バスセンター行き」に乗車

料金：140円・10分程度 日中は5-15分間隔, 20・21時台は10-20分間隔



講演プログラム(□頭発表) 6月29日(土)9:00~10:45

□頭発表 A会場 (2号館22番講義室)

開始時刻	講演番号	講演タイトル
9:00	A-1	都市公園の森林群落における常緑樹(ホルトノキ)の消失リスク評価 ○稲飯幸代・乾隆帝・鎌田磨人(徳島大学)
9:15	A-2	二ホンザルの農地選択に対する時間スケールの影響評価 ○望月翔太・村上拓彦(新潟大学)・芝原知(日本工営)
9:30	A-3	北海道石狩低地帯の都市近郊におけるエゾシカの季節移動 ○吉田剛司・日野貴文・村井拓成・古賀彩音・伊吾田宏正(酪農学園大学)・立木靖之・赤松里香(NPO 法人 EnVision 環境保全事務所)
9:45	A-4	環境省の鳥類レッドリストから見た草地景観の重要性 ○金井裕(日本野鳥の会)
10:00	A-5	Satoyama Index を用いた新潟県全域の農業景観モザイク度の定量化 ○村上拓彦・望月翔太・中谷智成(新潟大学)
10:15	A-6	窯業の里の文化的景観とその変容:小石原焼の里の事例 ○山下三平・丸谷耕太・内山忠・小川勇樹(九州産業大学)・林珠乃(龍谷大学)
10:30	A-7	協働に基づく「生物多様性とくしま戦略」の策定プロセス ○鎌田磨人(徳島大学)

□頭発表 B会場 (2号館23番講義室)

開始時刻	講演番号	講演タイトル
9:00	B-1	仙台湾岸の海岸林復興にかかわる生態学的な評価と提案 ○平吹喜彦(東北学院大学)・富田瑞樹・原慶太郎(東京情報大学)
9:15	B-2	仙台湾岸域の3.11津波被災地における景観再生と生物多様性保全 ○原慶太郎・趙憶・富田瑞樹(東京情報大学)・平吹喜彦(東北学院大学)・平泉秀樹(ラムサール・ネットワーク日本)
9:30	B-3	酒蔵環境からみた海岸砂丘の生態系サービス ～陸域(河川付近・平野部、台地・山間部)との連続性～ ○金子是久(北総生き物研究会)・押田佳子(日本大学)・松島肇(北海道大学)
9:45	B-4	河口域における自然再生とランドスケープデザイン ー遠賀川多自然魚道および周辺環境の設計プロセスとその課題ー ○伊東啓太郎(九州工業大学)・辰本卓・深浦貴之(国土交通省)・石松一仁・伊藤拓也・田中優太(九州工業大学)
10:00	B-5	マングロープ生育地のマルチスケール評価 ～琉球諸島を事例として～ ○竹村紫苑(総合地球環境学研究所)・鎌田磨人(徳島大学)
10:15	B-6	琵琶湖南湖における水位変動にもなう冠水分布変化の解析 ○東 善広(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
10:30	B-7	沿岸照葉樹林に生息する陸ガニ類の生活史と土地改変の影響 ○柳井清治・山岸明日翔・中山貴将 (石川県立大学)

講演プログラム(ポスター発表) 6月29日(土)

コアタイム A(奇数の講演番号) 12:15~13:15

コアタイム B(偶数の講演番号) 13:15~14:15

ポスター発表会場 (2号館 12・13 番講義室)

講演番号	講演タイトル
P-1	津波被災地の倒壊林と残存林における震災前後の地盤高の比較—南蒲生モニタリングサイトの事例— ○富田瑞樹(東京情報大学)・平吹喜彦(東北学院大学)・原慶太郎(東京情報大学)
P-2	平成24年度東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査等業務の調査結果について 佐藤直人・馬淵亮(環境省生物多様性センター)・○塚本吉雄・市橋理・香岐信二・染矢貴・磯田真紀・寺澤弘陽(アジア航測株式会社)・宮川浩・石塚新(自然環境研究センター)
P-3	気仙地方における震災前後の自然環境を診断～現場で気づかされたこと～ ○入江彰昭(東京農業大学)
P-4	東日本大震災後の南相馬市における休耕地の実態把握 ○原田一平・井戸川知央・堀内雄太・原慶太郎(東京情報大学)
P-5	オニグルミの植生帯は津波の到達高の指標にはならないか?—津波後5ヶ月後の巡検報告— ○笹木義雄(柳学園中学校)
P-6	東日本大震災による海岸砂浜の景観レベルでの変化—岩手県の海浜を例に— ○島田直明・昆野紘士(岩手県立大学)・早坂大亮(近畿大学)・川西基博(鹿児島大学)
P-7	ピオトープネットワーク構築を目的とした生態学的な空間評価と流域景観計画に関する研究—福岡県遠賀川流域を対象として— ○掲野慎一郎・伊東啓太郎(九州工業大学)
P-8	トンボ類を指標とした都市におけるエコロジカル・ネットワーク構築手法に関する研究 ○深町健太郎・伊東啓太郎・石松一仁(九州工業大学)
P-9	都市の生態系保全を目的とした水辺空間の設計プロセス及び活用に関する研究—九州工業大学戸畑キャンパスを対象として— ○平田裕之・伊東啓太郎(九州工業大学)・横山学爾
P-10	生物多様性保全を目的とした都市緑化 ○石松一仁・伊東啓太郎・三谷康範(九州工業大学)
P-11	自然再生を目的とした河川事業における住民参加型の計画および設計に関する研究—遠賀川河口堰多自然魚道を対象として— ○田中優太・伊東啓太郎(九州工業大学)・井手孝亮
P-12	地域性に配慮した生態工学的な河川空間のデザインと活用に関する研究—遠賀川魚道公園を対象として— ○伊藤拓也・伊東啓太郎(九州工業大学)
P-13	東日本大震災の住宅移転地計画に対する1980年の国土庁のエコロジカル・プランニング(土地利用適性評価)の基礎データの有用性に関する基礎的考察 ○上原三知(信州大学)・井上忠佳(日本都市計画家協会)・加藤禎久(茨城大学)・齋木崇人(神戸芸術工科大学)
P-14	岩手県における環境容量の試算とGISによる可視化 ○大西文秀(ヒト自然系GISラボ)
P-15	奥大山地区を事例とした国立公園の生物多様性保全に資する植生データベースの構築 ○千布拓生(鳥取大学/株式会社地域環境計画)・日置佳之(鳥取大学)



講演 番号	講演タイトル
P-16	生態系サービス社会的価値の空間評価-住民意識調査による分析事例- ○庄山紀久子・山形与志樹(国立環境研究所)
P-17	小規模な和牛繁殖経営の「ジオライフ」とその景観をどう価値づけ継承するか ○河本大地(神戸夙川学院大学)
P-18	遠野土淵山口集落の文化的景観選定に関わる植物的自然 ○竹原明秀(岩手大学)
P-19	植林情報等を活用した植生図 ○浅井樹・染矢貴・成ヶ沢久仁子・館野真澄・廣永茂雄・塚本吉雄(アジア航測株式会社)・神昌行(株式会社エコニクス)
P-20	衛星画像による 2011 年新燃岳噴火の森林被害範囲の把握 ○山川博美・安部哲人・金谷整一・野宮治人・重永英年(森林総研九州)
P-21	仙台平野における異なる空間分解能の衛星データを用いた景観解析 ○趙憶・富田瑞樹・原慶太郎(東京情報大学)
P-22	自然再生と子どもの体験学習を目的とした都市公園の設計に関する研究 —環境学習ワークショップを通じた子どもの行動と意識構造— ○須藤朋美・伊東啓太郎(九州工業大学)・田中浩子(戸畑区役所)
P-23	生物多様性保全を目的とした都市公園の設計と活用手法に関する研究 ～北九州市夜宮公園巡り坂池を対象として～ ○川添祐(九州工業大学)・伊東啓太郎(九州工業大学)・中本昭(福岡市役所)
P-24	里山再生を目的とした環境マネジメントに関する研究 ～竹林拡大の現状とその抑制について～ ○平川豊晃・伊東啓太郎(九州工業大学)・池田朝二(直方市役所)
P-25	地域竹林管理計画支援ツールによる最適な竹林管理・利用オプションの選定～山口県周防大島町のケーススタディ～ ○堀啓子・池野優子・松井孝典・町村尚(大阪大学)
P-26	里山域における落葉広葉樹二次林の位置と価値：一関市芦ノ口地区の事例 ○齊藤賢治・平吹喜彦(東北学院大学)菅野洋(かんのいきも舎)
P-27	多様な団体との協働による希少種の保全と新たな里山景観の創造 ○真鍋徹(北九州自・歴博)・須田隆一(福岡県保環研)・清水敬司(ガシャモク再生の会)
P-28	「あいち森と緑づくり事業」による人工林間伐後の森林植生モニタリング 千賀弘貴(元名古屋産業大学)・○村上健太郎(名古屋産業大学)
P-29	植栽後 10 年が経過した自然林再生緑化地の景観評価 ○堀田佳那・石井弘明・黒田慶子(神戸大学)
P-30	都市生態系における企業緑地の役割：全国の事業所での緑地/生物相調査結果と評価ツールの開発について ○岩淵翼(東洋大学)・増澤直(地域環境計画)・三輪隆(竹中工務店)・飯田慎一(パナソニック)・伊藤俊哉(住友林業緑化)・浦嶋裕子(三井住友海上)・木村幹子(対馬市)・久保達哉(JSR)・杉本 信幸(味の素)・瀬能靖弘(凸版印刷)・高見謙(帝人)・竹内和也(三菱地所)・竹内恵子(グリーン・ワイズ)・田畑真理(大阪ガス)・寺内孝夫(大日本印刷)・永戸優子(凸版印刷)・中村博一(大阪ガス)・林豊(清水建設)・原口真(インターリスケ総研)・原田佳幸(イオンリテール)・平井宗男(旭化成)・細見弘明(旭化成)・本名浩(帝人)・三宅茂(イオンリテール)・宮本昌宏(JSR)・矢部明彦(富士ゼロックス)・横山潤(山形大学)・河田雅圭(東北大学)・中静透(東北大学)

講演 番号	講演タイトル
P-31	<b>大山蒜山地域の土塁</b> ○日置佳之・田面匠・長谷川恵士(鳥取大学)
P-32	<b>山口県虹ヶ浜における人工構造物の減風効果が海浜植生に与える影響</b> ○岡浩平(広島工業大学)・高須賀健(国土防災技術株式会社)
P-33	<b>海岸砂丘の改変による海浜植生の構造への影響</b> ○永松大・清水美佳・平家日向子(鳥取大学)
P-34	<b>逆レジームシフトの発生か? —近年の琵琶湖南湖生態系—</b> ○浜端悦治・大谷隆太(滋賀県立大学)・野崎尚吾(大津市)・築山省吾((株)関西技研)
P-35	<b>北海道における国内外来種トノサマガエル(<i>Pelophylax nigromaculatus</i>)の2つの景観(水田・湿地)での食性比較</b> ○更科美帆・吉田剛司(酪農学園大学)
P-36	<b>北海道標津町におけるヒグマ(<i>Ursus arctos</i>)出没確認ポイントの景観要因の把握</b> ○松橋杏子(酪農学園大学)・藤本靖・赤石正男(NPO 法人南知床・ヒグマ情報センター)・長田雅裕(標津町農林水産課)・吉田剛司(酪農学園大学)
P-37	<b>空間スケールの違いが野生動物分布の推定に与える影響</b> ○後藤明日香・望月翔太(新潟大学)・村上拓彦(新潟大学)
P-38	<b>エゾシカの高密度化により植生構造が改変された洞爺湖中島におけるヤブサメの生息地選択</b> ○上原裕世(酪農学園大学)・川路則友(森林総合研究所北海道支所)・梶光一(東京農工大学)・吉田剛司(酪農学園大学)

# 公開シンポジウム

日時：6月29日（土） 14時30分～17時30分

場所：岩手大学 テクノホール（工学部）

## 三陸復興と景観・自然環境

2011年3月11日の東日本大震災とその後の大津波により三陸沿岸の市町村は甚大な被害を受け、大きく様変わりしてしまいました。現在、都市機能の復旧とともに新たなまちづくりが計画されておりますが、地域の将来はまだまだ不明な部分も多々あります。

特に防潮堤の建設や高台移転などはその後のまちづくりや景観形成、自然環境に大きく関わっています。現在の計画によって、地域の景観や自然環境がどのように変わるのか、あるいはより良い復興のために目指すべき景観や自然環境とは何か。これらを現在の復興状況と、様々な視点から論点を整理し、市民とともに考え、ディスカッションしていきます。

### S-1 はじめに一企画の意図一

岩手大学人文社会科学部 竹原明秀

### S-2 岩手三陸の復興と景観の創出

岩手大学工学部 南正昭

### S-3 三陸復興国立公園と自然災害

岩手大学農学部 山本清龍

### S-4 賢い適応のデザインと鎮守の森

京都学園大学バイオ環境学部 森本幸裕

### パネルディスカッション

パネリスト：南正昭，山本清龍，森本幸裕，竹原明秀，平吹喜彦（東北学院大学）

モデレーター：原慶太郎（東京情報大学）

主催：日本景観学会・岩手大学三陸復興推進機構

後援：岩手県・岩手県教育委員会・岩手県立大学・岩手生態学ネットワーク・東北環境アセスメント協会・（一社）建設コンサルタンツ協会東北支部・岩手日報社・朝日新聞盛岡総局・毎日新聞盛岡支局・読売新聞盛岡支局・岩手日日新聞社・盛岡タイムス社

JALE23（盛岡）参加者名簿

氏名	所属	懇親会	エクスカーション	講演番号
秋鹿 史子	鳥取大学農学部	○	×	
掲野 慎一郎	九州工業大学大学院工学府	○	○	P-7
浅井 樹	アジア航測株式会社	×	×	P-19
東 善広	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	×	×	B-6
石崎 龍二	鳥取大学大学院農学研究科	×	×	
石松 一仁	九州工業大学大学院工学府	○	○	P-10
伊東 啓太郎	九州工業大学大学院工学府	○	×	B-4
伊藤 拓也	九州工業大学大学院工学府	○	○	P-12
稲飯 幸代	徳島大大学院先端技術科学教育部	○	×	A-1
井上 絵里奈	九州大学芸術工学部	○	○	
井本 郁子	地域自然情報ネットワーク/LEAVES技術事務所	○	○	
入江 彰昭	東京農業大学	×	×	P-3
岩淵 翼	東洋大学生命科学部	○	×	P-30
上田 夏希	パシフィックコンサルタンツ株式会社	○	○	
上原 裕世	酪農学園大学院 野生動物保護管理学	×	×	P-38
上原 三知	信州大学農学部	○	○	P-13
大西 文秀	ヒト自然系GISラボ	○	○	P-14
岡 浩平	広島工業大学環境学部	○	○	P-32
小川 大介	鳥取大学農学部	×	○	
小栗 ひとみ	国土交通省国土技術政策総合研究所	×	○	
加治屋 大空	九州大学芸術工学部	○	○	
加藤 禎久	茨城大学地球変動適応科学研究機関	○	○	
金井 裕	日本野鳥の会	○	○	A-4
金子 是久	北総生き物研究会	○	×	B-3
鎌田 磨人	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部	○	○	A-7
川添 祐	九州工業大学大学院工学府	○	○	P-23
河野 誠	九州大学芸術工学府	○	○	
河本 大地	神戸夙川学院大学観光文化学部	○	○	P-17
後藤 明日香	新潟大学大学院自然科学研究科	○	×	P-37
齊藤 賢治	東北学院大学	×	×	P-26
笹木 義雄	柳学園中学校	○	×	P-5
更科 美帆	酪農学園大学大学院野生動物保護管理学	×	×	P-35
島田 直明	岩手県立大学総合政策学部	○	○	P-6
小路 敦	農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター	○	×	
庄山 紀久子	国立環境研究所	○	○	P-16
鈴木 重雄	立正大学地球環境科学部	○	○	
須藤 朋美	九州工業大学大学院工学府	○	○	P-22
竹原 明秀	岩手大学人文社会科学部	○	○	P-18・S-1
竹村 紫苑	総合地球環境学研究所	○	○	B-5
田中 優太	九州工業大学大学院工学府	○	○	P-11
千布 拓生	株式会社地域環境計画／鳥取大学大学院連合農学研究科	○	○	P-15

JALE23 (盛岡) 参加者名簿

氏名	所属	懇親会	エクスカーション	講演番号
趙 憶	東京情報大学総合情報学部	○	×	P-21
塚本 吉雄	アジア航測株式会社	○	×	P-2
富田 瑞樹	東京情報大学総合情報学部	○	○	P-1
永松 大	鳥取大学地域学部	○	○	P-33
夏原 由博	名古屋大学情報文化学部	×	×	
野田 奏栄	大阪自然環境保全協会	○	○	
橋本 正志	(株)復建技術コンサルタント	○	○	
浜端 悦治	滋賀県立大学環境科学部	×	○	P-34
原 慶太郎	東京情報大学総合情報学部	○	○	B-2
原田 一平	東京情報大学総合情報学部	○	×	P-4
日置 佳之	鳥取大学農学部	○	○	P-31
平川 豊晃	九州工業大学大学院工学府	○	○	P-24
平田 裕之	九州工業大学大学院工学府	○	○	P-9
平吹 喜彦	東北学院大学教養学部	○	○	B-1
深町 加津枝	京都大学地球環境学堂	×	×	
深町 健太郎	九州工業大学大学院工学府	○	○	P-8
藤田 大知	応用地質株式会社東北支社	○	○	
藤田 直子	九州大学大学院芸術工学府	○	○	
堀田 佳那	神戸大学農学研究科	×	×	P-29
堀 啓子	大阪大学工学部	○	○	P-25
増澤 直	株式会社地域環境計画/地域自然情報ネットワーク	○	○	
松井 孝典	大阪大学大学院工学研究科	○	○	
松橋 杏子	酪農学園大学大学院野生動物保護管理学	×	×	P-36
真鍋 徹	北九州市立自然史・歴史博物館	○	○	P-27
三浦 修	-	×	×	
村上 健太郎	名古屋産業大学環境情報ビジネス学部	○	○	P-28
村上 拓彦	新潟大学農学部	○	○	A-5
村上 竜太	鳥取大学農学部	×	×	
望月 翔太	新潟大学大学院自然科学研究科	○	×	A-2
森本 幸裕	京都学園大学バイオ環境学部	○	×	S-4
柳井 清治	石川県立大学生物資源環境学部	○	○	B-7
山川 博美	森林総合研究所九州支所	○	○	P-20
山下 三平	九州産業大学工学部	○	×	A-6
横山 秀司	九州産業大学商学部	○	×	
横山 祐宜	九州大学芸術工学部	○	○	
吉田 剛司	酪農学園大学大学院野生動物保護管理学	×	×	A-3
李 軼穎	九州大学大学院芸術工学府	○	○	
<b>公開シンポジウム講演者</b>				
南 正昭	岩手大学工学部	○		S-2
山本 清龍	岩手大学農学部	○		S-3